

クラブ計画書

2011

2012

第 2670 地区



宇和島ロータリークラブ

目 次

R. I. 会長メッセージ.....	
第 2670 地区ガバナーメッセージ.....	
宇和島ロータリークラブ運営方針.....	
2011-2012 年度 宇和島ロータリークラブ役員・理事.....	
2011-2012 年度 宇和島ロータリークラブ委員会構成.....	
2011-2012 年度 行事予定表.....	
クラブ概況.....	
宇和島ロータリークラブ内規.....	
委員会活動計画方針.....	
職業奉仕委員会活動計画.....	
社会奉仕委員会活動計画.....	
国際奉仕委員会活動計画.....	
新世代活動委員会活動計画.....	
ロータリー財団活動計画.....	
米山奨学委員会活動計画.....	
環境保全委員会活動計画.....	
クラブ奉仕委員会活動計画.....	
出席委員会活動計画.....	
親睦委員会活動計画.....	
ロータリー情報・雑誌・広報委員会活動計画.....	
会員増強・分類選考委員会活動計画.....	
会員選考委員会活動計画.....	
プログラム委員会活動計画.....	
スマイルニュース委員会活動計画.....	
姉妹クラブ特別委員会活動計画.....	
S. A. A. 活動計画.....	
宇和島 RC の明日を考える委員会活動計画.....	
愛媛第Ⅱ分区 IM委員会 活動計画	

R.I. 会長メッセージ



2011-12 年度国際ロータリー
会長 カルヤン・バネルジー



2011-12 年度には、まず自分自身を見つめ直すこと、すなわち「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」のテーマを実践していただきたいというのが、ロータリアンの皆さまへの私からのお願いです。深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解していただきたいのです。誰であろうと、どこに住んでいようと、私たちはそれぞれ、同じように平和と充足を願い、充実した毎日を送りたいと望んでいます。人に何かを与えようとするなら、まず自分自身にそれを与えることです。なぜなら、自らが抱く望みを理解せずして、人々の望みを理解することはできないからです。全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後で外に目を向ける必要があります。心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に、全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和をほかの人々と分かち合うことができるということです。愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは、他者を大切にすることができるのです。自分が強くなれば、共に生きる人々や家族も強くなります。そして、強い家族を土台として、前進していくことができるのです。うちに強さを秘めた人々が協力すれば、人類にもより良く奉仕することができます。これこそ、私たちがロータリーで行っていることです。次年度には、ロータリーの奉仕において3つの強調事項に力を注いでいきたいと思えます。第一に、強い家族を築くこと、第二に、私たちが一番得意とすることを継続していくこと、最後に、変える必要があることは変えるということです。年度の第一の強調事項は、「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕すべて、また世界で成し遂げたいと望むことすべての出発点は、家族にあります。そして、あらゆる家族の中心を成しているのが、母と子です。ここから始めてこそ、人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くしていくことができるのです。第二の強調事項は、「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルへと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕で成功を収めてきました。これらの成功を土台に、今後もさらに多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。ですから、きれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための活動や新世代との協力、平和への努力といった活動を、これからも続けていかなければなりません。同時に、改善できること、変えるべきことがあることを、私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、

必要な変化をもたらしていくために行動していかなければなりません。マハトマ・ガンジーはかつて次のように述べました。「世界の変化を望むなら、あなた自身がその変化にならなければならない」。ロータリーにおいては、私たちは、友情と親善を分かち合い、あらゆる人々の真の価値を見極めるために、倫理的に、誠実に生きようと努力しています。ロータリアンは並みのことには満足しません。なぜならロータリーは非凡な組織であり、ロータリアンは類まれな人々だからです。私たちが自分自身を高めることによって、世界を高めようと取り組むのは、このためなのです。私たちは皆、ロータリーを通じて世界を変えたいと望んでいます。ロータリアンとなる理由は、まさにこれに尽きるのではないのでしょうか。幸せと健康と平和にあふれた世界をつくることできる、過去よりも明るい未来を築くことができると、私たちは信じています。理想主義者である私たちは、ロータリーの奉仕を通じてこの理想を実現しているのです。2011-12年度の第三の強調事項を「変化」としたのは、このためです。世界に望んでいる変化に、まず私たち自身になることです。平和を望むなら、家庭に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。ポリオやほかの病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子どもの死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それには、まず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。

「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」。平和、調和、そして友情の精神の中で変化をもたらし、すべての人々のために、さらに喜びある世界を築いていこうではありませんか。

国際ロータリー第2670地区
2011-2012年度ガバナー

美馬 精一

新年度 RI テーマについて

新年度 RI 第2670地区の運営方針について

第2670地区の新しい年度がまもなく始まります。2月20日のDTTS（地区研修セミナー）、3月20日のPETS（会長エレクト研修セミナー）に出席頂きました皆様、誠に有難うございました。それぞれのセミナーに於いて、新年度のRI 会長テーマ、及びRI 会長が今回提唱された幾つかの強調事項を発表させて頂きました。2011-2012年度のカルヤン・バネルジーRI 会長のテーマ「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」（Reach within to Embrace Humanity）は、まさに私たち日本のロータリアンが このテーマを理解し行動を起こすべき時であると思います。折しも「東日本大地震」に直面し、世界最大級の津波による二次災害、原子力発電所の崩壊による放射能の漏出と、人類が未だかつて経験したことのない複合大惨事となっております。かつて1923年9月1日に「関東大震災」があったとき時、東京RCには当時のRI 会長ガイ・ガンディカーから次のような励ましの電報がまいりました。

「RI および全ロータリアンは深い同情の意を表す。如何なる事であろうと、遠慮なく申し付けられたし。」これが呼び水となって、世界各国の503 クラブから多額の義援金が寄せられました。日本ではロータリークラブが誕生してまだ三年目の年の出来事であったのです。88年後の現在、日本でのRC数は2309クラブとなり多くのロータリークラブができました。現在、国も国民も様々な困難に直面しており、課題も山積みしておりますが、この様な困難な時ほど「原点に戻る」ことが大切と考え、RI 財団のテーマ「何か良いことをしよう」を実践しましょう。

新年度RI のテーマについて“Reach within to Embrace Humanity”「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」がRI カルヤン・バネルジー会長のテーマです。RI カルヤン・バネルジー会長はメッセージの中で、アニサ・ベグンという女性との出会いの話をされました。そのことによりロータリアンとなったことの真の意味を深く理解されたそうです。以来12年目にして「住む家を提供することが家族に希望と尊厳と自信をもたらすものであり、母と子が良き家族となり 良き隣人となり 良き地域社会をつくり、ひいてはそれが偉大な国を築くことにもなる」と考えたのです。来る年度 第一の強調事項を「家族」としたのは、このためでありマザー・テレサも「家庭内の愛の欠如が世界の崩壊を招く」と語っております。

第二の強調事項は、「継続」です。ポリオ撲滅・青少年の育成・未来の夢計画に渡る、以下の6つの重点分野の「継続」を推進します。

平和と紛争予防/ 紛争解決 疾病予防と治療 水と衛生設備 母子の健康 基本的教育と識字率向上
経済と地域社会の発展

第三の強調事項は「変化」です。

マハトマ・ガンジーは「世界の変化を望むなら、あなた自身が その変化にならなければならない」と言っております。

世界に望んでいる変化、例えば環境破壊に歯止めをかけ、子供の死亡率を減らし飢えを減らしたいと望むなら、自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それにはまず、自分自身の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。こころの中を見つめ、内に秘めた力を解き放ち、定められた目標に向かって、一步一步自信を持って進んで下さい。自らを発見し、潜在的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく、「出でて奉仕し」、世界で博愛を広げてください。次年度のテーマは、このことを言い表した「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。

新年度地区運営方針は2011-2012年度 RI テーマ RI 会長カルヤン・バネルジー

“Reach within to Embrace Humanity” 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

RI 会長 強調事項

「家族」 「継続」 「変化」

2. 重点事項

RI の長期計画を理解し行動につなぐ CLP を推進してクラブを活性化する

未来の夢計画への準備を進め、ロータリー財団への協力を推進する

米山記念奨学事業の理解と支援

会員増強 退会防止（女性会員増、各クラブ一名以上の増強）

東日本大地震に対しみんなで出来る事をしよう

地区大会（徳島）と国際大会（タイ）に参加しよう

宇和島ロータリークラブ運営方針

” Bulding Communities Bridging Continents”
「地域を育み、大陸をつなぐ」
「ロータリーの基本に返ろう、Back to Basics」

宇和島ロータリークラブ
2011-2012年度会長
森本真二

宇和島 RC の 2011-2012 年度が本日よりはじまります。
伝統ある宇和島 RC の会長という重職を与えられ、身の引き締まる思いでいっぱいです。
私の運営方針を皆さんにお話しする前に、RI と地区の運営方針についても一度簡単に説明させていただきます。本年度の RI 会長は、インドのカルヤン・バネルジー氏です

テーマは “Reach within to Embrace Humanity” 「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」

本年度の強調事項は3つです。1. 家族、2. 継続、3. 変化

家族のつながりに重きを置き、それを発展させてゆく考え方はとても共感できるものです。その上、今までつないできた歴史を継続し、変化・発展させる考え方は私が思う基本的な考え方と同じものです。

当クラブでは残念ながらここ数年、会員減少に歯止めがかからず、過去最低の会員数となりました。このままの状態では、従来のロータリー活動はおろか伝統ある宇和島ロータリーの存続も危ぶまれてきます。今年度は特に会員増強・退会防止について会員一人一人が真剣に取り組んで頂きたいと思えます。そして、魅力のある元気な宇和島ロータリーを取り戻したいと願っております。

運営方針として、以下の6項目を目標として挙げさせていただきます。

1. 会員数の純増 目標 5名

現在の会員数が19名です。近年、増強委員長を中心に皆さん努力していただいたことだとは思いますが、宇和島の経済事情もありなかなか会員数が増えておらず、逆に会員の減少に歯止めがかかっておりません。過去最低の人数で新年度を迎えるにあたって、例会の仕組み、あり方を含めて、会員数を増やす思い切った改革を行いたいと思っております。

各会員が最低1名を、推薦もしくは例会にゲストとして迎えることをノルマとしてこなしていただきたいと思えます。行動を早速おこし、継続して勧誘を行い5名は確実に増やしたいと思えます。会員の皆様方も是非協力の程よろしく願います。

2. 出席率の向上 目標 85%と他クラブへのメイクアップの推奨

2002-2003年度の89%を最高値とし、地区の平均にはおよばない数字が続いております。本年度は会員も増やし尚且つ出席率も最低85%をクリア出来るようにお願いしたいと思います。ロータリアンの第一の義務は例会への出席であるということは、いうまでもありません。会員の皆さんが楽しんで例会に出席出来るように、プログラム委員の皆様と一緒に知恵を絞ってまいりたいと思っております。

また、例会の出席が宇和島 RC だけでは閉塞感が免れないと思えます。今年度は宇和島からガバナー補佐を排出しておりますので、他のクラブを訪問する機会が多くあるものと存じます。これをよい機会に今まで他クラブへのメイクアップをあまりされたことのない、皆さんに積極的に他クラブへの出席をお声掛けしてゆきたいと思えます。

3. IMの実施と成功

本年度、愛媛第2分区のインターシティ・ミーティングを宇和島ロータリークラブで開催することになっております。IMの実行委員長は直前会長であります亀岡会員に引き受けて頂いております。会員数の少ないわが宇和島RCではありますが、全会員が一致協力して、このIMを成功させなければならないと考えます。皆さんご協力お願いいたします。

4. インターアクトクラブの支援と活動の見直し

これは宇和島ロータリークラブの周年事業のひとつですが、今後は基本的にインターアクトクラブが自主的に活動を起こして、その活動を広くサポートしてゆく関係を構築してゆきたいと思っております。現況は決して良い関係を保っているとは考えられません。

このインターアクトクラブとの関係の見直しを、本年度中に行い、今後に向けて発展させていければと思っております。

5. よい子達とのみかん狩りの実施

これも大事な事業のひとつです。石丸委員長、萩森副会長には大変ご迷惑をおかけすることになると思っております。ただ、楽しく遊んでいる子供たちの顔を思い出すと、限られた会員数と財政状況であると思っておりますが、皆さん全員で一致協力して成功させましょう。

6. 会員間の親睦の向上

「親睦とは、酒を飲んだりゴルフをしたりすることではなく、その楽しみを通じて腹を割って真に仲良くなることをいうのであり、この親睦が大切である。」と言われます。

この宇和島RCにおいても夜間例会や親睦会など会員同士の交流が図れる機会を増やして、より一層親睦を深められたら…と思っております。

やはりロータリークラブの主体は、会長や幹事、理事会ではなく各委員会の活動であると考えます。ロータリーは基本的に単年度制なので、1年では中々出来ないプログラムもあると思っておりますが、次にも継承できるようにこの1年、活発な委員会活動を期待しております。

最後になりましたが、入会して7年目になりますが、ロータリーに入らなければ到底知り合う事の出来なかった、皆様との出会いを大変誇りに思い、その間、色々な勉強をさせて頂きましたことに感謝しております。この1年間また多くの人達との出会いを期待しながら、村尾幹事のお力も最大限お借りして、微力ではございますが頑張ります。

皆様方の厚い友情でご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

2011-2012 年度 宇和島ロータリークラブ役員・理事

(役員)	会 長	森 本 真 二
	副 会 長	萩 森 盛 一
	幹 事	村 尾 明 弘
	副 幹 事	
	会 計	萩 森 盛 一
	S. A. A	亀 岡 明 彦
	副S.A.A	石 丸 正 敏
	会長エレクト	萩 森 盛 一

(理事)	理 事	森 本 真 二
		村 尾 明 弘
		萩 森 盛 一
		亀 岡 明 彦
		中 村 在 徹
		野 本 政 孝
		酒 井 純 孝
		杉 脇 達 也
		渡 辺 重 栄

2011-2012年度 宇和島ロータリークラブ委員会構成

委員会		委員長	副委員長	委員
職業奉仕		加藤 圭哉	渡辺 重栄	
社会奉仕		石丸 正敏	酒井 純孝	中村在徹 野本政孝 加藤圭哉
国際奉仕		杉脇 達也		石丸正敏
新世代活動		萩森 盛一	杉脇 達也	亀岡明彦 檜垣茂樹 中村大輔
環境保全		野本 政孝		
ロータリー財団		檜垣 茂樹	中村 在徹	
米山奨学		中村 大輔	野本 政孝	
クラブ奉仕	クラブ奉仕	萩森 盛一		
	出席	村尾 明弘		
	親睦	檜垣 茂樹	加藤 圭哉	中村在徹 杉脇達也 中村大輔
	情報・雑誌・広報	中村 在徹		森本真二
	会員増強・分類	石丸 正敏		萩森盛一 亀岡明彦
	会員選考	野本 政孝		渡辺重栄
	プログラム	酒井 純孝		中村在徹 野本政孝
	スマイルニュース	中村 大輔		石丸正敏 加藤圭哉 野本政孝
	姉妹クラブ特別	渡辺 重栄		
S・A・A		亀岡 明彦	(副SAA 石丸正敏)	
宇和島RCの明日を考える		亀岡 明彦		渡辺重栄 酒井純孝 中村在徹 野本政孝 石丸正敏 杉脇達也
愛媛第Ⅱ分区IM委員会		亀岡 明彦		森本真二 村尾明弘 萩森盛一 中村在徹 野本政孝 杉脇達也 渡辺重栄

2011-2012 年度 行事予定表

月	行 事	月	行 事
7	◇ ・短期交換学生受入・派遣(中止) ・クラブ協議会(12日、19日) ・ガバナー公式訪問例会(26日) ・IAC年次大会(7/30～7/31) ☆定例理事会(26日)	1	◇ ローターリー理解推進月間 ・例会休会(3日) ・新年家族会(10日) ☆定例理事会(31日)
8	◇ 会員増強及び拡大月間 ・例会休会(16日) ☆定例理事会(30日)	2	◇ 世界理解月間 ・愛媛第2分区IM(18日) ・例会休会(21日) ・R創立記念日(23日) 世界理解と平和週間(2/23～2/29) ☆定例理事会(28日)
9	◇ 新世代のための月間 ☆定例理事会(27日)	3	◇ 識字率向上月間 ◇ 世界ローターアクト週間 ・例会休会(20日) ・宇和島南高定時制卒業者表彰 ・会長エレクト研修セミナー(4日) ☆定例理事会(27日)
10	◇ 職業奉仕月間 米山月間 ・地区大会(8日・9日) ・観月会(11日) ☆定例理事会(25日)	4	◇ ローターリー雑誌月間 ・例会休会(3日) ・観桜会(10日) ・地区協議会(15日) ☆定例理事会(24日)
11	◇ ローターリー財団月間 ・よい子達とのみかん狩り(18日) ・例会休会(22日) ☆定例理事会(29日)	5	◇ ・例会休会(1日) ・R.I.国際大会(バンコク5日～9日) ☆定例理事会(29日)
12	◇ 家族月間 ・通常会員総会(理事選挙)(6日) ☆次年度理事会(1週間以内) ☆定例理事会(20日) ・例会休会(27日)	6	◇ ローターリー親睦活動月間 ☆定例理事会(19日) ・最終例会(夜間26日)

クラブ概況

平成 23. 7. 1 現在
幹 事 村 尾 明 弘

1. クラブ沿革

(1) 創 立

- a. 年 月 日 1940年(昭和15年) 6月21日
- b. R. I. 承認 1940年(昭和15年) 7月26日
- c. 登録番号 R15272
- d. 日本R. C. 創立順位 37

再 承 認

- a. 再 創 立 1965年(昭和40年) 6月20日
- b. 日本R. C. 再承認順位 693
- c. R. I. 再承認 1965年(昭和40年) 8月12日
- d. 認証状伝達式典 1966年(昭和41年) 4月10日

(2) スポンサークラブ

松山東R. C.

2. クラブの区域

宇和島市及び北宇和郡、南宇和郡、東宇和郡

3. 会員区分

会員総数	20名
正 会 員	16名
名 誉 会 員	4名
チャーターメンバー	33名(うち在籍者1名)

4. 会員の年齢構成

平均年齢	56.63歳
最 年 長	102歳
最 年 少	29歳

年 代 分 布

39歳以下	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2名	1名	4名	8名	1名
13%	6%	25%	50%	6%

5. 会員数・出席率推移

年 度	入 会 者 数	退 会 者 数	年度末会員数	平均出席率%	地区平均%
1965~66	33+6	5	3 4	83.03	91.54
1966~67	3	4	3 3	78.50	91.55
1967~68	4	2	3 5	87.26	92.54
1968~69	4	4	3 5	87.06	92.61
1969~70	9	7	3 7	83.74	92.38
1970~71	1 1	8	4 0	86.21	91.12
1971~72	1	3	3 8	80.29	91.87
1972~73	2	3	3 7	82.31	92.04
1973~74	5	4	3 8	86.57	92.65
1974~75	5	2	4 1	85.77	98.86
1975~76	5	3	4 3	85.31	93.21
1976~77	2	4	4 1	85.16	93.37
1977~78		3	3 8	85.08	93.87
1978~79	7	2	4 3	86.75	94.78
1979~80	4	7	4 0	87.11	94.69
1980~81	1	5	3 6	87.81	94.72
1981~82	5	6	3 5	86.86	95.12
1982~83	7	6	3 6	87.82	95.13
1983~84	2	1	3 7	90.96	95.02
1984~85	8	8	3 7	85.75	94.39
1985~86	6	1	4 2	90.99	94.41
1986~87	5	5	4 2	86.80	93.34
1987~88	5	5	4 2	87.40	93.45
1988~89	9	1 0	4 1	84.56	92.45
1989~90	4	6	3 9	84.14	91.97
1990~91	6	5	4 0	84.96	89.91
1991~92	2	4	3 8	85.33	92.25
1992~93	5	4	3 9	85.71	93.12
1993~94	9	5	4 3	86.72	90.43
1994~95	4	4	4 3	84.85	91.28
1995~96	7	4	4 6	87.57	90.17
1996~97	4	2	4 7	88.08	90.58
1997~98	4	5	4 1	85.97	88.06
1998~99	5	6	4 3	85.76	89.38
1999~2000	6	6	4 3	86.44	89.42
2000~2001	2	9	3 8	82.60	89.12
2001~2002	3	5	3 6	83.55	89.41
2002~2003	5	4	3 7	89.27	89.05
2003~2004	2	2	3 7	88.12	89.60
2004~2005	1	5	3 3	83.61	89.21
2005~2006	2	2	3 3	81.45	84.70
2006~2007	6	3	3 2	76.35	86.23
2007~2008	1	7	2 4	82.01	87.60
2008~2009	2	4	2 3	85.39	86.96
2009~2010	1	5	1 9	79.12	86.85
2010~2011	2	7	1 4	76.88	

6. 会員在籍年数（平成23年7月1日現在）

33～45年未満	0名	18～19年未満	2名	9～10年未満	1名
32～33年未満	1名	17～18年未満	0名	8～9年未満	2名
31～32年未満	0名	16～17年未満	0名	7～8年未満	0名
27～30年未満	1名	15～16年未満	0名	6～7年未満	0名
25～26年未満	0名	14～15年未満	1名	5～6年未満	1名
23～24年未満	1名	13～14年未満	0名	4～5年未満	2名
21～22年未満	0名	12～13年未満	1名	3～4年未満	0名
20～21年未満	0名	11～12年未満	0名	2～3年未満	2名
19～20年未満	0名	10～11年未満	0名	1年未満	2名

7. 皆出席会員(通算)（平成23年6月30日現在）

31年間 有間 重喜	12年間 伊藤 哲男	4年間 亀岡 明彦
31年間 酒井 純孝	9年間 村重 享	3年間 杉脇 達也
28年間 正木 啓介	10年間 石丸 正敏	3年間 萩森 盛一
23年間 渡辺 重栄	5年間 森本 真二	2年間 加藤 圭哉
15年間 野本 政孝	4年間 酒井秀次郎	
12年間 中村 在徹	4年間 高木 常樹	

8. クラブの諸会合

例 会	と き	毎週火曜日 12:30～13:30
	と ころ	宇和島弁天町 1-318-6 宇和島きさいや広場
総 会		12月上旬開催(次年度役員・理事選挙)
理 事 会	定 例	毎月最終例会日に開催
	臨 時	必要に応じその都度召集
クラブ協議会		年6回開催予定
フ ォ ー ラ ム		年4回(四大奉仕部門ごとに開催)
委 員 会		委員長が必要に応じてその都度開催

9. 姉妹クラブ

仙 台 東 R. C. (D-2520)	1973年(昭和48年)	4月24日締結
カトマンズ R. C. (D-3290)	1980年(昭和55年)	8月20日締結

10. スポンサーをつとめた新設クラブ

八幡浜 R. C. 1967年12月 3日創立

11. スポンサーをつとめたインターアクトクラブ

宇和島南高等学校 I. A. C. 1996年 6月 8日承認証伝達式典

12. 記念事業

(1) 創立記念

- 消防自動車ロータリー号 (宇和島消防署)
- 愛の徐行塔・交通標識塔 (栄町ロータリー)

(2) 5周年記念

- タクシー乗場オーニング (JR宇和島駅前)

(3) 10周年記念

- 野外球技場 (宇和島勤労青少年ホーム)

(4) 15周年・創立40周年・R. I 創立75周年記念

- ネパール農民塾建設協力金寄付 500,000円
- 米山奨学会寄付 100,000円

(5) 20周年記念

- 宇和島市立図書館へ寄付 500,000円

(6) 25周年記念

- 記念例会

(7) 30周年記念

- 宇和島市社会福祉協議会へロータリー号(軽自動車) 2台、
介護用ベッド5台寄贈

(8) 35周年記念

- 記念例会

(9) 40周年記念

- 「青少年作文コンクール弁論大会」
- ロータリー財団寄付金 400,000円

13. 受賞

(1) 意義ある業績賞

1980～81年度 国際親善 1982～83年度 青少年活動

(2) ロータリー財団 5,400%達成 1987～88年度

(3) マルチプルポールハリスフェロー

岡 紀興 1987年11月 長野 護 1987年11月 (故)沢井 進堂 1989年4月
(故)奥窪和子 1993年6月 (故)上田 永三 1995年5月 渡辺 重栄 2002年9月
芳谷 謙二 2002年9月 有間 重喜 2002年10月 酒井 純孝 2005年2月
松本 直幸 2005年2月 野本 政孝 2006年4月
ベネファクター (故)林 和敏 1996年7月

15. 歴代会長及び幹事（再創立後）

	年 号		会 長	幹 事
初代	1965～66年	(昭和40～41年)	(故)中 浦 実	酒 井 秀次郎
2代	1966～67年	(昭和41～42年)	(故)武 田 博	森 川 茂
3代	1967～68年	(昭和42～43年)	(故)奥 窪 剛之	村 重 享
4代	1968～69年	(昭和43～44年)	(故)実 藤 盛男	(故)大 下 宏
5代	1969～70年	(昭和44～45年)	(故)藤 堂 満義	(故)中 重 義
6代	1970～71年	(昭和45～46年)	(故)三 好 金久	(故)山 口 喜多男
7代	1971～72年	(昭和46～47年)	(故)河 野 伝	(故)石 丸 良久
8代	1972～73年	(昭和47～48年)	村 重 享	古 用 保
9代	1973～74年	(昭和48～49年)	(故)中 重 義	(故)稲 田 正俊
10代	1974～75年	(昭和49～50年)	酒 井 秀次郎	(故)菊 池 俊雄
11代	1975～76年	(昭和50～51年)	(故)大 下 宏	松 浦 昭男
12代	1976～77年	(昭和51～52年)	(故)石 丸 良久	(故)上 田 和男
13代	1977～78年	(昭和52～53年)	(故)稲 田 正俊	芳 谷 謙二
14代	1978～79年	(昭和53～54年)	(故)沢 井 進堂	(故)上 田 永三
15代	1979～80年	(昭和54～55年)	森 信 功	山 本 桂助
16代	1980～81年	(昭和55～56年)	有 間 重喜	片 桐 三樹
17代	1981～82年	(昭和56～57年)	古 用 保	山 崎 康輔
18代	1982～83年	(昭和57～58年)	(故)山 口 喜多男	松 浦 昭男
19代	1983～84年	(昭和58～59年)	芳 谷 謙二	松 尾 武彦
20代	1984～85年	(昭和59～60年)	松 浦 昭男	酒 井 純孝
21代	1985～86年	(昭和60～61年)	(故)上 田 永三	(故)伊勢家 正雄
22代	1986～87年	(昭和61～62年)	片 桐 三樹	山 内 金次郎
23代	1987～88年	(昭和62～63年)	山 本 桂助	渡 辺 重栄
24代	1988～89年	(昭和63～平成1年)	田 中 哲	(故)林 和敏
25代	1989～90年	(平成1～2年)	(故)伊勢家 正雄	正 木 啓介
26代	1990～91年	(平成2～3年)	山 内 金次郎	渡 部 正
27代	1991～92年	(平成3～4年)	渡 部 正	西 田 良三
28代	1992～93年	(平成4～5年)	渡 辺 重栄	中 村 在徹
29代	1993～94年	(平成5～6年)	酒 井 純孝	酒 井 俊明
30代	1994～95年	(平成6～7年)	正 木 啓介	松 浦 貫四郎
31代	1995～96年	(平成7～8年)	岡 紀興	上 田 干城
32代	1996～97年	(平成8～9年)	(故)林 和敏	井 上 浩三
33代	1997～98年	(平成9～10年)	西 田 良三	河 野 和重
34代	1998～99年	(平成10～11年)	中 村 在徹	野 本 政孝
35代	1999～2000年	(平成11～12年)	松 浦 貫四郎 (平成12年5月迄)	伊 藤 哲男
36代	2000～01年	(平成12～13年)	上 田 干城	木 熊 良生
37代	2001～02年	(平成13～14年)	酒 井 俊明	石 丸 正敏
38代	2002～03年	(平成14～15年)	野 本 政孝	松 本 直幸
39代	2003～04年	(平成15～16年)	伊 藤 哲男	井 上 浩三
40代	2004～05年	(平成16～17年)	井 上 浩三	武 田 元介
41代	2005～06年	(平成17～18年)	石 丸 正敏	伊 藤 哲男
42代	2006～07年	(平成18～19年)	松 本 直幸	山 下 英夫
43代	2007～08年	(平成19～20年)	高 木 常樹	杉 脇 達也
44代	2008～09年	(平成20～21年)	山 下 英夫	亀 岡 明彦
45代	2009～10年	(平成21～22年)	杉 脇 達也	森 本 真二
46代	2010～11年	(平成22～23年)	亀 岡 明彦	萩 森 盛一
47代	2011～12年	(平成23～24年)	森 本 真二	村 尾 明弘

宇和島ロータリークラブ内規

慶弔交際費 1982.12.7 理事会承認 (1983.1.1 施行)		
項 目	現 行(円)	備 考
本人の結婚	20,000	
本人の死亡	20,000	
家族の死亡	10,000	※親子, 配偶者
夫人の出産	10,000	*1994年9月27日理事会承認(改訂) *理事会審議する場合あり
入院・長期療養	10,000	
海外クラブ公式訪問餞別	20,000	
子女の結婚	20,000	
災 害	理事会審議	
他クラブ死亡	〃	
記念行事	〃	
そ の 他	〃	

スマイル自祝科 1998.6.23 理事会承認		
項 目	現 行(円)	備 考
会員誕生日	2,000	
奥様誕生日	2,000	
結婚記念日	2,000	
創業記念日	2,000	
入会記念日	2,500	
届出欠席	1,000	1989.3.28 理事会承認(改正) 1989.5.1 施行
無断欠席	3,000	
遅刻・早退	1,000	
バッチ忘れ	1,000	

委員会活動計画方針

活 動 計 画

(2011－2012 年度)

職業奉仕委員会活動計画

委員長 加藤 圭 哉
委員 渡辺 重 栄

活 動 方 針

職業奉仕は、ロータリークラブの原点である。

かつて無い、未曾有の東日本大震災の危機の中、職業奉仕においても、その原点を見つめ直し、企業における倫理・道德の向上を常に目指しながら、会員各自が日々の活動に邁進する必要がある。例会においても、常にその事柄を認識し、社会への、より良い職業奉仕が実践出来るよう、共に活動して行くこととする。

活 動 計 画

- 1 職業道德の向上のため、例会において『四つのテスト』の唱和し、実践する。
- 2 講師を招いて職業奉仕についての卓話等を計画し、具体的活動への指導を行う。
- 3 職業奉仕について、部内討論を実施し、意識の高揚を行う。
- 4 職場訪問を実施し、より良い職業奉仕活動の一助とする。

※1 について、唱和はソングリーダーに協力をいただき実行する。

※2、3、4 においては、プログラム委員会と連携を取り合い計画する。

社会奉仕委員会活動計画

委員長	石丸正敏
委員	加藤圭哉
委員	酒井純孝
委員	中村在徹

活動方針

健全な青少年の育成の為の社会奉仕活動を実践して行く、ただし厳しい財政状況に鑑みコストダウンを工夫する。

活動計画

第25回の「よい子達とのみかん狩り」を実施する

国際奉仕委員会活動計画

委員長 杉 脇 達 也
委員 石 丸 正 敏

活 動 方 針

ロータリアンの国際理解、親善、平和を推進するために、交換プログラムによる海外地区間との親睦と交流を深める。

活 動 計 画

- ①本年度短期交換学生の受入れ、送出しが東日本大震災のため中止となったため新世代活動委員会の活動に合わせて協力していく。
- ②毎年2月の世界理解月間では、世界理解と平和の啓蒙活動を行う。

新世代活動委員会活動計画

委員長	萩	森	誠	一
委員	杉	脇	達	也
委員	亀	岡	明	彦
委員	檜	垣	茂	樹
委員	中	村	大	輔

1. 活 動 方 針

ロータリーの未来、素晴らしい世界を後世に残す為には最も若い世代に焦点をあてなければなりません。地域社会の最も大切な財産である「子供たち」に光をあてて頂きたいのです。当クラブにおきましても新世代に対する支援は重要な活動の一つです。

本年度も愛媛県立宇和島南中等教育学校の I A C に対する継続的な支援を中心に活動します。

2. 活 動 計 画

【短期交換プログラム】 中 止

【 I A C 夏期合宿】 (生徒・顧問教員・会員)

【 I A C 年次大会】 参加 (7月30日～31日)

【みかん狩り】 (社会奉仕委員会の計画に沿う)

【次期 I A C 会長・幹事会】 (地区事業)

(生徒4～6名、顧問教員1名、会員2名) (6月)

I A C 例会参加 (通年・適宜)

R C 例会での I A C 活動報告 (通年・適宜)

ロータリー財団委員会活動計画

委員長 檜 垣 茂 樹
委員 中 村 在 徹

活 動 方 針

ロータリー財団の使命はロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育を高め、貧困を救済することを通じて世界平和・親善・平和を達成できるようにすることです。当クラブにおいても、財団の活動に対する理解を深めその活動に貢献できるよう努めていきます。

活 動 計 画

①財団プログラムの理解と支援

(教育的プログラム、人道的補助金プログラム、ポリオプラスプログラム)

②年次寄付の要請

(ポール・ハリスフェロー及びマルチプルフェロー)

③地域社会及び国際社会への財団活動の支援

米山奨学委員会活動計画

委員長 中 村 大 輔
委員 野 本 政 孝

活 動 方 針

米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。この奨学金の財源は日本全国のロータリアンの寄付金です。

東日本大震災という未曾有の危機が日本を襲う中、これからの日本の復興に必要となる国際社会の手助けを得るためにも、まず日本から国際社会への貢献、何より日本との懸け橋になる人材の育成が必要となっています。これからの国際社会を支える優秀な留学生を支援することで、将来における日本の復興を見据え、母国と日本との懸け橋を期待することができます。

米山記念奨学金の目的は、未来の創造、未来への投資です。この目的の理解及び協力を得ることができるように努めます。

活 動 計 画

- 1 米山記念奨学会の理解のため、情報提供を行います。
- 2 米山記念奨学会の財源である寄付金を奨励します。
- 3 10月の米山月間において、米山記念奨学会の理解推進をします。

環境保全委員会活動計画

委員長 野本政孝

1. 活動方針

環境保全、環境問題は今最も重要な課題の一つです。特に3.11以降の東日本大震災と福島原発第一号機の事故を看過することは出来ない。地球規模での影響は、はかり知れないものがあります。もう一方で、身近な地域社会の環境問題、特に「森、川、海」、クリーンエネルギー等について今一度、議論する必要があります。

2. 活動計画

- ① 会員及び事業所における環境保全活動の計画と実施。
- ② 環境保全についての部外講師の卓話。

- * クリーン作戦
- * 環境保全見学

クラブ奉仕委員会活動計画

委員長 萩 森 盛 一
委員 クラブ奉仕部門
の各委員長

活 動 方 針

会長、幹事を補佐し、会員増強を重点とするクラブの活性化とロータリー活動をより地域に理解される活動へと広報する事を目標とし、スムーズなクラブ運営を行うよう努力する。

活 動 計 画

- ①クラブ奉仕委員会の活動を把握し、その遂行に努力する。
- ②各委員会の委員長との連携に心掛け活動の活性化を目指す。
- ③クラブリーダーシッププランの実質的かつ効果的な導入をクラブ細則の変更も含め行う。
- ④ガバナー補佐を選出するクラブとして協力体制を確立する。

出席 委員会活動計画

委員長 村 尾 明 弘

活動方針

親睦の重要性から例会に出席することは会員の最も基本的な義務であることを理解して頂くよう努めます。

平均出席率 85%を目標とします。

活動計画

- 1.例会場に出席表を掲示する。
- 2.出席状況を定期的に報告し出席を促す。
- 3.皆出席を表彰し記念品を贈る。
- 4.メイク・アップを奨励する。
- 5.地区大会及び公式会合への出席を要請する。

親 睦 委員会活動計画

委員長	檜	垣	茂	樹
委員	加	藤	圭	哉
委員	片	岡	順	一郎
委員	中	村	大	輔
委員	中	村	在	徹
委員	杉	脇	達	也
委員	渡	部	太	輔

活 動 方 針

例会の委員会活動を通じて、会員相互の親睦や友情を深める機会を設営する。また、諸行事への参加を奨励していく。

活 動 計 画

- ①毎月第一例会において、会員及び夫人の誕生日並びに結婚記念日、創業記念日、入会記念日を披露して祝う。
なお 会員誕生日についてはプレゼントを贈呈する。
- ②親睦会（夜間例会）を実施する。
観 月 会（9月）
新年家族会（1月）
観 桜 会（3月）
- ③委員は青タスキを掛け、接客に努める。
- ④部外卓話のお客様には、特に気を配り接客に努める。

情報・雑誌・広報委員会活動計画

委員長 中 村 在 徹
委員 森 本 真 二

活 動 方 針

地元報道機関との交流を深めるとともに、地域社会にロータリークラブの存在と活動を積極的に示す。

活 動 計 画

1. 地元報道機関へ情報提供し、交流と親睦を深めクラブ活動が紹介されるよう努力する。
2. 委員会報告で「ロータリーの友」の中から興味ある記事を紹介する。
3. 新会員に対する入会後のオリエンテーションを行う。
4. 休止中の HP の再立上げへ向けて検討する。

会員増強・分類委員会活動計画

委員長

委員 石 丸 正 敏

委員 萩 森 盛 一

委員 亀 岡 明 彦

活 動 方 針

一年間を通じて、3名～5名の増強を行いたい。
元ロータリアンの入会もお願いしたい。

活 動 計 画

未充填の職業分類に対して適格な人物を委員会以外の全メンバーに協力をお願いする。

会員選考委員会活動計画

委員長 野 本 政 孝
委員 渡 辺 重 栄

1. 活 動 方 針

理事会より諮問された会員推薦者についてロータリークラブへの適合性を調査し、委員会としての意見を報告する。

2. 活 動 計 画

下記項目について公平に調査をする

- ・人物像
- ・社会的責務
- ・財務的評価
- ・諸会合への出席の可否

プログラム委員会活動計画

委員長 酒 井 純 孝
委員 中 村 在 徹
委員 野 本 政 孝

■ 活 動 方 針

例会が楽しく有意義なものになるよう、各委員会、各会員並びに専門分野の部外卓話者に協力戴きプログラムを編成するように努める。

■ 活 動 計 画

1. ロータリー活動月間には担当委員会に卓話をお願いする。
2. 部外卓話を年間4回予定する。
3. 部内卓話
 - a. 目標として会員全員に卓話をお願いする。
 - b. 卓話のテーマは卓話者に一任する。
4. 月別担当（3ヶ月毎の担当とする。）

7・8・9月	酒井純孝	10・11・12月	
1・2・3月	中村在徹	4・5・6月	野本政孝

の順番で担当する。

スマイルニュース委員会活動計画

委員長 中 村 大 輔
委 員 石 丸 正 敏
委 員 加 藤 圭 哉
委 員 野 本 政 孝

活 動 方 針

スマイルニュースは、会員、家族、事業所等の慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し、喜びを分かち合い、また、失敗したり、迷惑をかけた時も、ユーモアたっぷりに披露し、例会を賑わせて親睦を増進し、集まったお金は主として奉仕活動に使われるとの目的により行われています。スマイルニュースにより、最も簡易に、会員各人は、親睦から奉仕へのロータリーの本質を具現化することができます。

会員各人において、スマイルニュースの目的を理解し、協力いただくことで、ロータリーの本質へ皆が少しでも近づくことができるよう努めていきます。

活 動 計 画

- 1 スマイルニュースの理解の推進を図ります。
- 2 来賓、ビジターの方々のお名前、肩書等や、卓話される方のお名前、タイトル等を会場入り口のホワイトボードで表記いたします。
- 3 ニュースの発表は、委員の輪番制として、各人の理解を進めます。
- 4 各月の担当者のテーブル上にプレートを置きます。

姉妹クラブ特別委員会活動計画

委員長 渡 辺 重 栄

活 動 方 針

姉妹クラブを結んでいる仙台東ロータリークラブとの友好を深め、親善を計ることに務める。

活 動 計 画

- ①仙台東ロータリークラブとの情報の交換、会報の交換を続ける
- ②仙台東ロータリークラブの東日本震災後の状況を把握し、状況次第では訪問する。

S. A. A. 活動計画

委員長 亀岡明彦
委員 石丸正敏

活動方針

秩序正しい、品位ある例会運営を心掛ける。

活動計画

1. 例会時間の厳守。
2. よりスムーズな例会進行。
3. 心からの来賓、ビジターへの対応。
4. 政治・宗教は中立的立場とする。

宇和島R Cの明日を考える委員会活動計画

委員長	亀岡明彦
委員	渡辺重栄
委員	酒井純孝
委員	中村在徹
委員	野本政孝
委員	石丸正敏
委員	杉脇達也

活 動 方 針

会長経験者として、単年度ではなく中長期的見地で宇和島ロータリークラブの今後について話合う。

活 動 計 画

3ヶ月に1回程度日程調整して例会後に委員会を開催したい。
理事会に議案として提案できるものは提示する。
スポンサークラブ、姉妹クラブの記念式典に多数参加できるよう依頼する。

- ・2011年10月29日（土）松山東R C創立50周年記念式典
- ・2013年4月頃 仙台東R C創立50周年記念式典
（姉妹クラブ特別委員会に入れてもらう）

愛媛第Ⅱ分区IM委員会 活動計画

委員長	亀岡明彦
副委員長	酒井純孝
委員	森本真二
委員	村尾明弘
委員	萩森誠一
委員	中村在徹
委員	野本政孝
委員	杉脇達也
委員	渡辺重栄

1. 活動方針

渡辺ガバナー補佐ご指導のもと、インターシティ・ミーティング（IM）開催を成功させる。また、伝統ある宇和島ロータリークラブ主催として恥ずかしくないものとしたい。

2. 活動計画

毎月、理事会時にIM実行委員会を開催する。
必要に応じて臨時IM実行委員会を開催する。
例会において数回打ち合わせを開催する。

I. M. 開催予定日 2012年 2月 18日（土）

IM報告書（冊子作成）完了をもって活動を終了とする。

予算

分区内10クラブへのご案内訪問費用（1人1クラブ訪問告知を目標とする）

宇和島ロータリークラブ

事務局 〒798-0060 宇和島丸之内1丁目3-20

宇和島バスセンター2F

TEL (0895)22-2648

FAX (0895)24-1339

[E-mail : u-rc@mxi.netwave.or.jp](mailto:u-rc@mxi.netwave.or.jp)

例会場 〒798-0006 宇和島弁天町1-318-6

宇和島きさいや広場

TEL (0895)22-3934